

2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年7月12日

上場会社名 株式会社ジンスホールディングス 上場取引所 東
コード番号 3046 URL https://jinsholdings.com
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 田中 仁
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員CFO (氏名) 中谷 元明 (TEL) 03-6890-4800
四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第3四半期の連結業績(2023年9月1日~2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	59,163	10.5	5,060	37.5	5,115	42.6	3,173	47.5
2023年8月期第3四半期	53,562	7.3	3,679	33.4	3,587	14.2	2,151	109.6

(注) 包括利益 2024年8月期第3四半期 3,170百万円(66.7%) 2023年8月期第3四半期 1,901百万円(53.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第3四半期	135.99	129.72
2023年8月期第3四半期	92.18	84.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第3四半期	48,668	23,949	49.2
2023年8月期	44,863	21,779	48.5

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 23,949百万円 2023年8月期 21,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	13.00	—	25.00	38.00
2024年8月期	—	20.00	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,939	9.1	6,300	30.0	6,300	68.5	3,500	98.6	149.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年8月期3Q	23,980,000株	2023年8月期	23,980,000株
② 期末自己株式数	2024年8月期3Q	639,930株	2023年8月期	639,866株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年8月期3Q	23,340,084株	2023年8月期3Q	23,340,157株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定にあたり控除する自己株式数には、「株式給付信託 (J-ESOP)」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年9月1日～2024年5月31日)における国内経済は、新型コロナウイルス感染症が収束し、社会経済活動が正常化する中、インバウンド需要は回復しているものの、原材料の高騰や為替の影響に伴う物価上昇が続いており、個人消費の持ち直しの動きに足踏みが見受けられました。世界経済においては、原油や原材料の価格高騰による世界的なインフレや政策的な金融引き締め等による景気への影響が継続する中、中国では不動産市場の低迷や若年層の失業率上昇等による成長率の鈍化が見受けられ、更なる景気の下振れリスクの高まりが懸念されております。

国内眼鏡小売市場(視力矯正眼鏡)は、新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、発生以前の水準へ回復の傾向が見受けられました。

このような市場環境の中で、当社グループのアイウェア事業では、経営課題として掲げているイノベーティブなプロダクト開発の強化及び店舗展開の推進などの取り組みを進めておりました。商品開発につきましては、お客様の利用シーンに応じた商品の開発に取り組み、自宅での使用を提案した「JINS HOME」等、新たな商品価値を提供するとともに、引き続き「近視のない世界の実現」に向けた取り組みの一環として、バイオレットライトを用いた近視進行抑制メガネ型医療機器開発の共同プロジェクトを進めておりました。店舗戦略につきましては、市場環境に応じてお客様の利便性の高い立地への出店を推進しており、国内においては、郊外ロードサイドや小型のショッピングモールなどを中心に出店を進めました。また、海外においては、新たな購買体験ができる店舗の検討等に取り組んでおりました。

店舗展開につきましては、当第3四半期連結会計期間末における店舗数は、国内490店舗、海外249店舗(中国175店舗、台湾60店舗、香港10店舗、米国4店舗)の合計739店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、国内及び海外の新規出店の効果もあり59,163百万円(前年同期比10.5%増)となりました。営業利益は5,060百万円(前年同期比37.5%増)、経常利益は5,115百万円(前年同期比42.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,173百万円(前年同期比47.5%増)となり、増収増益となりました。

セグメント業績の概要は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自2023年9月1日 至2024年5月31日)	構成比	前年同期比増減
国内アイウェア事業	45,152百万円	76.3%	11.1%
海外アイウェア事業	14,011百万円	23.7%	8.3%
合計	59,163百万円	100.0%	10.5%

〈国内アイウェア事業〉

国内アイウェア事業につきましては、前期に引き続き店頭でのお客様一人ひとりへの接客を強化し、世界最高水準屈折率の両面非球面レンズ「JINS極薄レンズ」をはじめとしたオプションレンズの装着率が上昇したほか、自宅での使用を提案した、快適でストレスフリーなかけ心地と日常を自分らしく楽しめるデザイン性を兼ね備えた“おうち時間に着替えるメガネ”「JINS HOME」や、1本で簡単にメガネにもサングラスにもなるアイウェア「JINS Switch」の機能を搭載したモデル等をラインナップした、アウトドアブランド「Snow Peak」とのコラボレーションモデル「JINS×Snow Peak」シリーズやサングラス等の季節性商品等が売上を牽引しました。また、JINSアプリの会員数が2024年5月末現在で約1,476万人となりました。

店舗展開につきましては、国内店舗数は490店舗（出店20店舗、退店3店舗）となりました。

以上の結果、国内アイウェア事業の業績は、売上高45,152百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益4,720百万円（前年同期比47.9%増）となりました。

〈海外アイウェア事業〉

海外アイウェア事業につきましては、中国においては、新型コロナウイルス感染症の影響は収束したものの、不動産市場の低迷や若年層の失業率上昇等による消費の低迷が続いており、当社の業績への影響がありました。

台湾においては、引き続きオプションとして取り揃えている日本製レンズが好評を博していること等により業績は順調に推移しました。

香港においては、出店により売上高は増加しているものの、為替の影響による中国や日本へのアウトバウンド増加等があり、業績は想定よりも下回りました。

米国においては、EC事業を中心とした事業規模の拡大を目指した事業構造改革を進めておりますが、既存店の売上高も好調に推移しました。

店舗展開につきましては、中国175店舗（出店8店舗、退店5店舗）、台湾60店舗（出店6店舗、退店1店舗）、香港10店舗（出店1店舗、退店なし）、米国4店舗（出店、退店なし）の合計249店舗となりました。

以上の結果、海外アイウェア事業の業績は、売上高14,011百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益339百万円（前年同期比30.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2023年8月期末 (2023年8月31日)	当第3四半期連結 会計期間末 (2024年5月31日)	増減	増減率(%)
総資産	44,863	48,668	3,804	8.5
負債	23,083	24,718	1,634	7.1
純資産	21,779	23,949	2,170	10.0

(イ)資産

流動資産は、27,080百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,322百万円増加いたしました。

これは主に、現金及び預金が1,534百万円、商品及び製品が976百万円、売掛金が910百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、21,587百万円となり、前連結会計年度末に比べ482百万円増加いたしました。

これは主に、新規出店等に伴い建物及び構築物等の有形固定資産が460百万円増加したことによるものであります。

以上により、総資産は、48,668百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,804百万円増加いたしました。

(ロ)負債

流動負債は、22,523百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,253百万円増加いたしました。

これは主に、償還期限が1年以内となった転換社債型新株予約権付社債を固定負債より10,010百万円振り替えたこと、及び買掛金が1,179百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、2,195百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,618百万円減少いたしました。

これは主に、償還期限が1年以内となった転換社債型新株予約権付社債を流動負債に10,010百万円振り替えたことによるものであります。

以上により、負債合計は、24,718百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,634百万円増加いたしました。

(ハ)純資産

純資産合計は、23,949百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,170百万円増加いたしました。

これは主に、配当金の支払いにより1,056百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益3,173百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期通期の業績予想につきましては、本日(2024年7月12日)発表いたしました「2024年8月期通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,202	13,737
売掛金	5,059	5,970
商品及び製品	4,107	5,084
仕掛品	—	13
原材料及び貯蔵品	474	513
その他	1,912	1,761
流動資産合計	23,757	27,080
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,022	9,760
その他(純額)	2,099	1,822
有形固定資産合計	11,122	11,582
無形固定資産		
投資その他の資産	1,991	2,164
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,101	4,226
その他	3,890	3,614
投資その他の資産合計	7,991	7,841
固定資産合計	21,105	21,587
資産合計	44,863	48,668

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,745	2,925
1年内償還予定の 転換社債型新株予約権付社債	—	10,007
短期借入金	1,887	1,745
1年内返済予定の長期借入金	33	25
未払金及び未払費用	4,986	4,962
未払法人税等	793	1,069
賞与引当金	85	299
商品保証引当金	190	214
その他	1,547	1,273
流動負債合計	11,270	22,523
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	10,015	—
長期借入金	11	26
資産除去債務	1,070	1,124
その他	716	1,043
固定負債合計	11,813	2,195
負債合計	23,083	24,718
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,202	3,202
資本剰余金	3,228	3,201
利益剰余金	20,081	21,320
自己株式	△5,003	△4,040
株主資本合計	21,509	23,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93	67
為替換算調整勘定	175	198
その他の包括利益累計額合計	269	266
純資産合計	21,779	23,949
負債純資産合計	44,863	48,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年9月1日 至2024年5月31日)
売上高	53,562	59,163
売上原価	11,751	12,961
売上総利益	41,810	46,202
販売費及び一般管理費	38,131	41,142
営業利益	3,679	5,060
営業外収益		
受取利息	47	12
為替差益	—	90
補助金収入	179	32
事業構造改革費用引当金戻入益	60	—
その他	55	44
営業外収益合計	342	179
営業外費用		
支払利息	106	95
持分法による投資損失	103	18
不動産賃貸費用	107	—
為替差損	61	—
その他	55	10
営業外費用合計	434	124
経常利益	3,587	5,115
特別損失		
固定資産除却損	97	100
店舗閉鎖損失	26	17
投資有価証券評価損	—	28
減損損失	25	—
店舗臨時休業による損失	74	—
特別損失合計	222	146
税金等調整前四半期純利益	3,364	4,968
法人税、住民税及び事業税	1,103	1,545
法人税等調整額	108	249
法人税等合計	1,212	1,794
四半期純利益	2,151	3,173
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,151	3,173

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	2,151	3,173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77	△26
為替換算調整勘定	△193	126
持分法適用会社に対する持分相当額	21	△103
その他の包括利益合計	△249	△3
四半期包括利益	1,901	3,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,901	3,170
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	40,627	12,935	53,562	—	53,562
外部顧客への売上高	40,627	12,935	53,562	—	53,562
セグメント間の内部 売上高又は振替高	514	2	516	△516	—
計	41,141	12,937	54,078	△516	53,562
セグメント利益	3,192	486	3,679	—	3,679

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	45,152	14,011	59,163	—	59,163
外部顧客への売上高	45,152	14,011	59,163	—	59,163
セグメント間の内部 売上高又は振替高	620	11	632	△632	—
計	45,772	14,023	59,796	△632	59,163
セグメント利益	4,720	339	5,060	—	5,060

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。